



## 勇往邁進！外部発表へ挑む 77期生・78期生（3月実施）

76期生に続き、77期生・78期生も外部発表するグループが多数出てきました。Prin I・IIの経験が必ずPrin III、Super Principiaに活きます。探究活動は自分で道を拓くもの。自分たちの手でどんどんチャンスを掴もう！

## 2024年電子情報通信学会総合大会

2024年3月14日（火）東京大学 本郷キャンパス  
Principia I YRP所属  
参加者：2-2 佐々木萌楓、2-4 並木快成、2-6 野田幸希  
2-6 吉田有佑

テーマ：2030年、第6世代情報通信6G時代の  
ヒューマンインターフェースの研究

【大会について】若い世代の研究のうち、すでにまとまっているものではなく、着手段階・途中段階の研究を対象。ジュニア・学生と企業や大学の研究者が交流する場を提供し、研究コミュニティへの初参加をサポートする。

## 電子通信情報学会MVE

2024年3月15日（水）～17日（金）沖縄県青年会館  
Principia II NTT人間情報研究所所属  
参加者：2-3 木下広登、2-5 玉澤祐依、2-6 古瀬瑠璃  
テーマ：バドミントンのヘアピンに関する運動解析  
～モーションキャプチャシステムと筋電センサ

を用いたコーチと生徒における運動の比較～

【学会について】電子情報通信学会は電子情報通信技術の専門分野を幅広くカバーする学会で、メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会(MVE)はその中の一部門。今回、若手研究者の発表の場のために設定された萌芽セッション（ショートペーパー）に参加する。

## 日本化学会第104回春季年会

2024年3月18日（月）～21日（木）日本大学  
Principia II 防衛大学校所属 船橋キャンパス  
参加者：2-2 江守優里菜、2-2 加藤考、2-2 近藤珠々、  
2-2 松田大知、2-5 野沢陸斗、2-6 円谷心優

テーマ：ヨウ化物塩を用いたゆで卵の可溶化と再生

【大会について】受賞講演、外国人の特別講演、若い世代の特別講演、口頭A講演、口頭B講演、ポスター発表、イノベーション共創プログラム、中長期テーマシンポジウム、アジア国際シンポジウム、特別企画などが行われる。

## かながわ探究フォーラム

2023年3月24日（日）横浜国立大学  
Prin I・II金沢文庫、港湾空港技術研究所所属、校内研究  
①参加者：1-2 梅原凜、1-3 梅澤果乃子、1-6 石川遥子  
1-6 宮川紗帆

テーマ：ほんとに読めてる!!こんなに違う東と西のくずし字

②参加者：1-1 椎名托哉、1-3 横山心太、1-7 手島夏生

テーマ：海上流出油の移動に関する長期間シミュレーションに基づく環境被害予測

③参加者：2-1 穂場光、2-3 北田智祐、2-3 松岡海希  
2-4 渡辺悠太、2-6 天海晴稀、2-6 稲山睦月

テーマ：横須賀高校 in Minecraft

## 日本金属学会第11回発表会

2024年3月12日（火）東京理科大学 葛飾キャンパス  
Principia II 防衛大学校所属  
参加者：2-3 蓼沼瑛杜、2-6 和田拓大、2-7 阿久澤千嘉  
2-7 久保寺海斗

テーマ：新規機能性ナノ粒子の生成に向けて

【発表会について】金属とその関連材料に関する研究成果の発表を大学の教授や企業の研究者等の専門家に直接聞いてもらい、質疑応答が受けられる。ポスターの内容や発表の応答などを審査し、優秀な発表には日本金属学会会長から賞が授与される。

## サイエンスフロンティアFIRST

2024年3月16日（土）YSF内 和田昭允記念ホール他  
Principia II 校内研究  
参加者：2-4 ディキアラ幸一

テーマ：満腹感メーター～腹いっぱい可視化する～

【目的】本校および国内（海外）招待校の研究発表を通して理数分野における課題研究の成果を共有し地域におけるサイエンス教育の中核となる科学フォーラムの場を形成する。／生徒の研究成果やSSH重点枠での国際共同課題研究の成果について英語での発表を積極的に導入し研究活動における英語コミュニケーション力の向上を図る。／研究発表や意見交換を通して海外の研究者や他校とのネットワークを広げ研究レベルの向上を図る。

## 令和5年度探究活動発表会

2024年3月15日（金）横須賀工業高校  
Principia I アーティスト村所属  
参加者：1-3 今井健太、1-3 大山翔汰、1-3 佐藤雷  
1-3 田村徳啓、1-3 波多野寛太、1-3 久永いち  
1-4 落合結愛、1-4 坂尾満希

テーマ：バイオ粘土で陶器づくり～食品ロスを減らそう～

【目的】各学校における探究的な学習の成果を共有することで、各県立高等学校等の教育力の向上を図り、より一層、質の高い教育の提供に資する。生徒が探究的な学びを通して考えたことを、根拠に基づき説明し、質疑応答を通して学びを深めることで、知的探究心を高め、問題発見・解決能力の育成を図る。

## 日本水産学会

2024年3月29日（金）東京海洋大学  
Principia I 観音崎博物館、横須賀自然史博物館所属  
①参加者：1-3 菅野孔一、1-4 三富柊土、1-5 末永涼  
1-6 岩淵太陽、1-6 高橋冨空、1-7 吉澤春花

テーマ：子どもと貝を繋げるパンフレット

②参加者：1-1 渡辺然太、1-3 小林令奈、1-4 湯浅実華  
1-5 杉山佳織、1-5 横川叶夢  
1-6 作田悠太郎、1-6 若林兼真

テーマ：天神島のプランクトン相の周年変化